



「みなさんは、日々の暮らしの中に気の合う仲間やお友達がいますか？」

5年後、10年後に向けて「住みやすい、住んでいてよかった。」と思える人と人との「つながりのある地域」をめざし「地域のお宝」としてご紹介していきます。

取材先

生品地区

生品神社

新田義貞公

鏑矢祭



生品神社では毎年5月8日に氏子総代会や鏑矢祭保存会のみなさんによって鏑矢祭が開催されています。

新田義貞が出陣する前に鎌倉に向けて矢を放った挙兵の地とされているのが生品神社で、今年度は挙兵から690年目の節目の年です。

毎年、生品小学校の6年生の男児が白襦袢と黒袴姿で出陣式に参加しています。



くりばら ひでゆき

栗原 秀幸さん 生品神社新田義貞公 鏑矢祭 式師

コロナで中止や縮小が続きましたが、ようやくコロナ前と同様に鏑矢祭を開催することができました。

生品神社氏子総代会、生品小学校、他関係各位、多数の方々には素晴らしい舞台を用意していただきました。大変感謝しております。

毎年、伝統行事を重ねていくことで5年先、10年先につながることが出来ます。

出陣式では戦士(児童)1人1人が宝物です。みんなが真剣に取り組んでくれて、とても頼もしく思いました。

子供たちの良い思い出になってくれると思います。

地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～

宮司による神事

神社本殿前で出陣式前の神事が執り行われました。太田市長をはじめ国会議員や県議会議員、市議会議員や生品地区区長会など、たくさんの来賓が参列しました。



鏑矢祭で使用する弓と矢は、すべて手作りです。寒のうちに竹を切り、乾燥させ、弓に糸を張ったり、矢に矢羽根をつけます。

出陣式練習

4月26日から5月2日までの5日間(平日のみ)、生品神社氏子総代会と鏑矢祭保存会の方々が生品小学校体育館に出向き、出陣式の練習を行いました。

生品神社氏子総代会会長の里見英雄(さとみ ひでお)さんの挨拶後、令和5年度式師(式を先導したり指導する人)の栗原秀幸(くりばら ひでゆき)さんから、生品神社や新田義貞公、鏑矢祭について児童に分かりやすい言葉で説明がありました。

真剣に話を聞く児童たち。戦士としての心がまえは既にできているようでした。列の組み方、動作、弓の構えなど、丁寧な指導を受けました。



☆チェックポイント☆

生品神社氏子総代会や鏑矢祭保存会の方々の活動により、歴史や伝統がつながっています。鏑矢祭に参加することで地域の歴史を知り、郷土愛が育まれます。

地域のお宝情報を募集しています!

「私の近所でこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけて合っている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は右記お問い合わせまでお願いします!



詳しくはこちら

お問い合わせ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係
〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549
TEL 0276-46-6208 FAX 0276-46-6229